



こんにちは

2024年8月4日 NO. 546

日本共産党品川区議会議員

鈴木ひろ子

です

鈴木ひろ子事務所 中延2-11-7 TEL3783-8833 このニュースについてのご意見、
日本共産党区議団控え室 TEL5742-6818 ご要望をお寄せください。

羽田新ルートは中止・撤回を！

超党派で

23区議会議員交流会を開催



品川議連を代表して
報告するのだけ区議

初めて一超党派の区議、11区43人が参加・交流
7月18日、「羽田問題議員連盟しながわ」の呼びかけで、初めて、羽田新ルートに問題意識を持つ23区の現・前区議を対象にした交流会を開催。画期的な取り組みとなりました。

大井町・きゆりあん大会議室には、11区から43人の議員関係者（共産18、立民9、ネット9、れいわ5、参政2、無所属）、オブザーバー参加の住民15人が集い、経験交流・意見交換を行いました。

交流会の開始前には、ヤマダ電機前にて実際に低空飛行の体験会も。「飛行機のお腹が見え、轟音に恐怖を感じた」（足立）、「慣れているつもりだったがすごく低いな」と驚いた（江戸川）などの声があがりました。

司会は無所属の西本区議が務め、はじめに共産・のだて区議が品川区議会の動きや羽田議連の活動、住民投票を求め法定数の3倍の署名を集めた直接請求運動はじめ住民運動を報告。その後、各区議会からリレー発言。意見交換と進みました。

◆各区からの発言◆

「直下からTVが聞こえないとの声。車輪を降ろすところが中野、渋谷」（中野）

「品川に習いアンケート実施を求めたら『生活への影響はない』と判断しているので実施しない』と区に答弁された」（江東）

「町会長の半数の賛同で意見書を可決。近所の翻訳家が60円かけ二重窓にしたがそれでも仕事に影響があり越した」（新宿）

被害の実態、議会や当局との論戦の様子、住民運動との連携などが交流され、発言の随所から、こうした横の交流会が待たれていたことを実感しました。

行動提起では、今後の経験・情報交流へライングループも立ち上げ。直近の合同街頭宣伝（8月29日（木）午後5時～大井町ヨーカドー）の呼びかけがされました。

(日本共産党 鈴木ひろ子ニュース)



大反響だった低空飛行体験会。

「都心ルート見直しの意見書案を出したら逆に与党から推進の意見書が出された。討論もしたが可決されてしまった」（練馬）
「品川に習いアンケート実施を求めたら『生活への影響はないと判断しているので実施しない』と区に答弁された」（江東）
「町会長の半数の賛同で意見書を可決。近所の翻訳家が60万円かけ二重窓にしたがそれでも仕事に影響があり越した」（新宿）
被害の実態、議会や当局との論戦の様子、住民運動との連携などが交流され、発言の随所から、こうした横の交流会が待たれていたことを実感しました。

行動提起では、今後の経験・情報交流へライングループも立ち上げ。直近の合同街頭宣伝（8月29日（木）午後5時～大井町ヨーカドー）の呼びかけがされました。



「熱中症から命を守る対策について」の申し入れ

日本共産党は6月13日、区長宛に「熱中症から命を守る対策についての申し入れ」を行いました。

申し入れでは熱中症による死亡の最も大きな原因が、エアコンが設置されていない、設置されても電気代が高く使えない、また予防法の理解不足による適正なエアコン使用がされないことを示し、この実態を踏まえた以下の対策を申し入れました。

- ①区として、生活保護受給者や低所得者が安心してエアコンを使用できるよう、電気代の助成を行う。
- ②生活保護受給者や低所得者が省エネエアコンを自己負担なく購入・設置できるよう、助成を行う。
- ③区が設置している避暑シェルターは、長時間快適に過ごすことができるよう環境の整備を行うこと。
また、水分補給のための経口補水液なども配備すること。
- ④熱中症対策として、高齢者クラブ等地域ごとに熱中症に対する講座を行い知識の普及、予防対策の啓発を行うこと。また、熱中症弱者の把握や安否確認、見守り体制の仕組みについて検討すること。
- ⑤高齢者や乳幼児、難病患者や障害者など熱中症弱者が、数値で気づき対策がとれるよう、希望者に熱中症アラーム付き温度・湿度計を配布すること。



(2日目の会場・横浜市立大学の門前)

7月20・21日、共産党区議団4人で自治体学校に参加（横浜）。気候危機など今後の取り組みに生かすべく、多くを学びました。

無料 法律・生活相談会
8月27日(火)午後6:00～
鈴木ひろ子事務所
中延2-11-7 ☎3783-8833 ☎5742-6818 (控室)
弁護士さんが対応します。どんな問題でもお気軽にご相談ください。